



## 2024年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月29日

上場会社名 株式会社 不二家  
コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹  
半期報告書提出予定日 2024年8月8日  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-5978-8100

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年1月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	53,181	4.3	1,088	429.4	1,652	172.3	848	605.6
2023年12月期中間期	51,010	5.0	205	△90.5	606	△78.2	120	△92.1

(注)包括利益 2024年12月期中間期 2,177百万円 (117.0%) 2023年12月期中間期 1,003百万円 (△63.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	32.92	—
2023年12月期中間期	4.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	82,659	61,772	68.7
2023年12月期	83,125	60,640	67.3

(参考)自己資本 2024年12月期中間期 56,792百万円 2023年12月期 55,936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	3.3	3,600	161.9	4,200	99.6	2,500	157.8	96.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	25,784,659 株	2023年12月期	25,784,659 株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	8,841 株	2023年12月期	8,779 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	25,776,876 株	2023年12月期中間期	25,776,013 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日～6月30日)におけるわが国の経済は、政府の各種施策の効果により景気は緩やかに回復しておりますが、食品業界においては、原材料・エネルギー価格の高騰や値上げに対するお客様の節約志向の高まりにより、厳しい状況となりました。

このような状況下にあつて当社グループは、お客様に、より良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は、531億81百万円(対前年同期比104.3%)、営業利益は10億88百万円(対前年同期比529.4%)、経常利益は16億52百万円(対前年同期比272.3%)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億48百万円(対前年同期比705.6%)となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当中間連結会計期間		前中間連結会計期間		対前年同期比	増減
		2024年1月1日から 2024年6月30日まで		2023年1月1日から 2023年6月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
		百万円	%	百万円	%	%	百万円
洋菓子事業	洋菓子	11,805	22.2	12,098	23.7	97.6	△293
	レストラン	2,910	5.5	2,685	5.3	108.4	225
	計	14,715	27.7	14,783	29.0	99.5	△67
製菓事業	菓子	34,376	64.6	32,362	63.4	106.2	2,013
	飲料	2,447	4.6	2,246	4.4	109.0	201
	計	36,824	69.2	34,609	67.8	106.4	2,214
その他		1,641	3.1	1,617	3.2	101.5	24
合計		53,181	100.0	51,010	100.0	104.3	2,171

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### <洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、洋菓子チェーン店にて「新生活スイーツ応援」と題し、「プレミアムショートケーキ(国産苺)」など当社の人気製品や新製品を拡販する施策を週替わりで実施いたしました。また、『厳選素材製品』や旬のフルーツを使用した『ショートケーキ12の花物語』シリーズの販売に注力するとともに、新V I(ビジュアルアイデンティティ)を活用した「バウムクーヘン」をはじめとする焼菓子の品揃え強化により、売上回復につとめております。冷凍スイーツ自動販売機については、商業施設や駅などに設置を促進し、販路の拡大に取り組んだ結果、当中間連結会計期間末における設置数は179台となっております。なお、同時点における不二家洋菓子店の営業店舗数は、913店(前年同期差36店減)となりましたが、上記の各種施策の効果により、当中間連結会計期間における既存店の売上は堅調に推移しております。

広域流通企業との取り組みについては、コンビニエンスストア向けに当社の技術力を活かした製品や、外食チェーン企業向けに当社の洋菓子製造ラインを活用した製品の提案を積極的に行い、売上の確保につとめました。

上記の結果、単体の洋菓子事業の売上は前年同期の実績を上回りました。

レストラン事業では、メニュー改善及び価格の一部見直しを実施し、客数及び客単価アップをはかりました。また、イオンモール幕張新都心店の新規開店や神戸アンパンマン&ペコズキッチン店をはじめとする既存店の改装効果もあり、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間における洋菓子事業全体の売上高は、子会社の売上が伸び悩んだ影響もあり、147億15百万円(対前年同期比99.5%)に留まりました。

<製菓事業>

当社単体の菓子事業においては、テレビコマーシャルやデジタル広告配信等の販売促進活動や積極的な営業活動の効果により、主力の『カントリーマアム』や『ホームパイ』などの大袋製品に加え、『ミルクィ』の販売が好調に推移いたしました。『ハート』シリーズについては、「ハートチョコレート(ピーナッツ)」、「ショコラウェファース」、「ショコラウェファース(あまおう苺)」の3品を合わせて展開し、売上は前年実績を大幅に上回りました。『まみれワールド』においては、「チョコまみれザ・ワールド」のアメリカ編に続き、第2弾のアジア編の発売により、さらなるブランド強化に取り組んでおります。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は前年同期の実績を上回りました。

飲料事業については、発売60周年を迎えた『ネクター』の積極的な販売促進活動の展開に加え、季節限定製品「ネクタースパークリング白桃&アルフォンソマンゴー」の発売により、売上は前年同期の実績を上回りました。

不二家(杭州)食品有限公司においては、春節需要の復調はありましたが、中国国内の景気減速の影響が大きく、売上は前年同期の実績を確保するには至りませんでした。

以上の結果、当中間連結会計期間における製菓事業全体の売上高は368億24百万円(対前年同期比106.4%)となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売事業、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は16億41百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は302億68百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ37億53百万円減少いたしました。固定資産は523億90百万円で、主に有形固定資産や投資その他の資産の増により、前連結会計年度末に比べ32億87百万円の増加となりました。

この結果、総資産は826億59百万円で前連結会計年度末に比べ4億65百万円減少いたしました。

また、流動負債は175億73百万円で、主に支払手形及び買掛金や返金負債の減により前連結会計年度末に比べ17億42百万円減少いたしました。固定負債は33億12百万円で、主にリース債務や退職給付に係る負債の増により前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加いたしました。

この結果、負債は合計208億86百万円で、前連結会計年度末に比べ15億97百万円減少いたしました。

純資産は617億72百万円で、主に為替換算調整勘定や非支配株主持分の増により前連結会計年度末に比べ11億31百万円増加となりました。

次に、当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、48億13百万円(前年同期は66億37百万円の獲得)となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、24億23百万円(前年同期は50億62百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、11億32百万円(前年同期は11億9百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、92億1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日に発表した予想の変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,813	10,577
受取手形及び売掛金	16,443	11,989
商品及び製品	3,663	3,450
仕掛品	333	385
原材料及び貯蔵品	2,652	2,924
その他	1,301	1,119
貸倒引当金	△185	△176
流動資産合計	34,022	30,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,903	13,348
機械装置及び運搬具(純額)	12,943	13,136
土地	7,086	7,086
リース資産(純額)	599	714
その他(純額)	3,008	3,082
有形固定資産合計	35,540	37,368
無形固定資産		
その他	1,796	1,715
無形固定資産合計	1,796	1,715
投資その他の資産		
投資有価証券	6,530	6,868
繰延税金資産	1,175	1,235
敷金及び保証金	2,035	2,012
退職給付に係る資産	512	507
その他	1,632	2,808
貸倒引当金	△121	△127
投資その他の資産合計	11,765	13,306
固定資産合計	49,102	52,390
資産合計	83,125	82,659

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,082	6,938
短期借入金	960	960
リース債務	198	192
未払金	2,992	2,833
返金負債	2,390	1,707
未払法人税等	525	646
賞与引当金	451	489
その他	3,715	3,804
流動負債合計	19,316	17,573
固定負債		
リース債務	296	389
繰延税金負債	257	268
退職給付に係る負債	1,733	1,755
役員退職慰労引当金	66	68
その他	814	831
固定負債合計	3,168	3,312
負債合計	22,484	20,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	31,440	31,515
自己株式	△17	△17
株主資本合計	53,763	53,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	277
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	1,367	2,144
退職給付に係る調整累計額	561	531
その他の包括利益累計額合計	2,172	2,953
非支配株主持分	4,704	4,980
純資産合計	60,640	61,772
負債純資産合計	83,125	82,659



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	51,010	53,181
売上原価	35,070	35,389
売上総利益	15,939	17,792
販売費及び一般管理費	15,734	16,703
営業利益	205	1,088
営業外収益		
受取利息	31	49
受取配当金	48	53
持分法による投資利益	240	399
保険解約返戻金	81	-
その他	48	90
営業外収益合計	450	593
営業外費用		
支払利息	3	4
その他	45	25
営業外費用合計	48	29
経常利益	606	1,652
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	0	-
関係会社株式売却益	76	300
特別利益合計	76	300
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	7	150
減損損失	-	73
投資有価証券評価損	2	-
支払補償費	69	-
その他	-	35
特別損失合計	79	260
税金等調整前中間純利益	603	1,692
法人税、住民税及び事業税	503	644
法人税等調整額	△299	△43
法人税等合計	203	601
中間純利益	399	1,091
非支配株主に帰属する中間純利益	279	242
親会社株主に帰属する中間純利益	120	848

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	399	1,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	44
為替換算調整勘定	445	1,033
退職給付に係る調整額	1	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	53	38
その他の包括利益合計	603	1,085
中間包括利益	1,003	2,177
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	571	1,629
非支配株主に係る中間包括利益	432	547

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	603	1,692
減価償却費	2,476	2,445
減損損失	—	73
持分法による投資損益(△は益)	△240	△399
支払補償費	69	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△76	△300
売上債権の増減額(△は増加)	6,121	4,565
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,184	△52
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,215	△1,205
未払金の増減額(△は減少)	△286	△427
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	18	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43	△10
返金負債の増減額(△は減少)	△413	△715
その他	78	△753
小計	7,364	4,904
利息及び配当金の受取額	141	183
利息の支払額	△3	△4
法人税等の支払額	△795	△270
その他	△69	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,637	4,813
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△206	870
関係会社出資金の払込による支出	—	△1,172
投資有価証券の売却による収入	0	0
関係会社株式の売却による収入	109	451
固定資産の取得による支出	△4,909	△2,401
その他	△56	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,062	△2,423
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△115	△91
配当金の支払額	△769	△769
非支配株主への配当金の支払額	△224	△271
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,109	△1,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	535	1,419
現金及び現金同等物の期首残高	10,144	7,781
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,680	9,201

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	12,098	—	12,098	—	12,098	—	12,098
レストラン	2,685	—	2,685	—	2,685	—	2,685
菓子	—	32,362	32,362	—	32,362	—	32,362
飲料	—	2,246	2,246	—	2,246	—	2,246
その他	—	—	—	1,526	1,526	—	1,526
顧客との契約から生じる収益	14,783	34,609	49,392	1,526	50,919	—	50,919
その他の収益	—	—	—	90	90	—	90
外部顧客への売上高	14,783	34,609	49,392	1,617	51,010	—	51,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	228	228	239	468	△468	—
計	14,783	34,838	49,621	1,856	51,478	△468	51,010
セグメント損益(△は損失)	△1,466	3,501	2,034	297	2,332	△2,126	205

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,126百万円には、その他の調整額13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損 益計算書計 上額 (注)3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	11,805	—	11,805	—	11,805	—	11,805
レストラン	2,910	—	2,910	—	2,910	—	2,910
菓子	—	34,376	34,376	—	34,376	—	34,376
飲料	—	2,447	2,447	—	2,447	—	2,447
その他	—	—	—	1,537	1,537	—	1,537
顧客との契約から生じる収益	14,715	36,824	51,539	1,537	53,077	—	53,077
その他の収益	—	—	—	103	103	—	103
外部顧客への売上高	14,715	36,824	51,539	1,641	53,181	—	53,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	197	197	236	433	△433	—
計	14,715	37,021	51,737	1,878	53,615	△433	53,181
セグメント損益(△は損失)	△595	3,857	3,262	252	3,514	△2,426	1,088

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,426百万円には、その他の調整額△3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,422百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)  
重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。